



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

～次世代の医療のために～

(倫理指針に則る情報公開)

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の脳脊髄液を用いたバイオマーカー探索

【研究責任者】

里見 佳典 アクセリード ドラッグ ディスカバリー パートナーズ
(Axcelead Drug Discovery Partners株式会社)

【本研究の目的及び意義】

筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の脳脊髄液とともに健康な方の脳脊髄液を対照として用いて、新規バイオマーカー（目印）探索を行います。発見したバイオマーカーによって新薬開発の成功の可能性を高めます。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液

性別、年齢、診断名、既往歴、服薬情報

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2026年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)